JMA マネジメントスクール

オンライン

生産管理システム構築コース

～ 生産管理システムの在り方とは ～

開催日時
2026年 9月17日(木)～18日(金) オンライン
2027年 3月 4日(木)～ 5日(金) オンライン
各回とも2日間 10:00～17:00

対　象
- 生産管理部門長、担当者
- 生産管理システムの導入検討プロジェクトメンバー
- システムベンダー

講　師
三鍋 遼大 氏
㈱日本能率協会コンサルティング
サプライチェーン革新センター チーフ・コンサルタント

参加料(税込)
法人会員：121,000円/1名
会 員 外：132,000円/1名

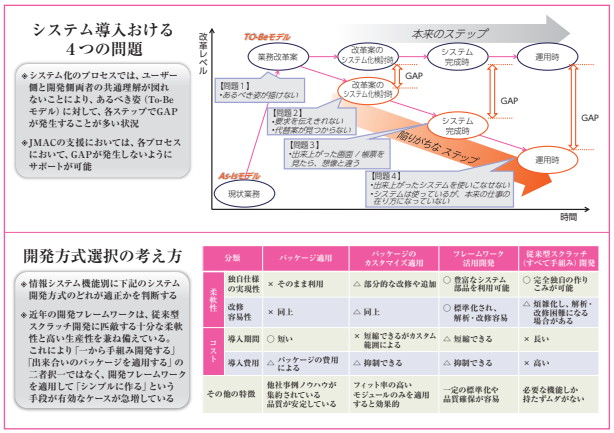
※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
https://www.jma.or.jp/membership/
※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。

本セミナーのポイント

- 生産管理システム導入において、生産管理業務改革構想立案から、システムの設計・開発・定着化までのプロセスを迅速かつ的確に推進するために必要な分析技術や知識を講義と演習を通じて身につけていきます。
- すぐに業務に役立てていただくために演習・事例を豊富に取り入れております。

以下のようなご要望をお持ちの方におすすめいたします。

- ☑ 生産管理に関する情報システムについて学びたい。
- ☑ 生産管理システムの開発・導入のために、プロセスを学びたい。
- ☑ 生産管理業務についての知識を、再整理したい。
- ☑ 実務に役立つ分析手法や帳票等を学びたい。



開発方式選択の考え方

※情報システム機能別に下記のシステム開発方式のどれが適正かを判断する
※近年の開発フレームワークは、従来型スクラッチ開発に匹敵する十分な柔軟性と高い生産性を兼ね備えている。これにより「一から手組み開発する」「出来合いのパッケージを適用する」の二者択一ではなく、開発フレームワークを適用して「シンプルに作る」という手段が有効なケースが急増している

分類		パッケージ適用	パッケージのカスタマイズ適用	フレームワーク活用開発	従来型スクラッチ（すべて手組み）開発
柔軟性	独自仕様の実現性	× そのまま利用	△ 部分的な改修や追加	○ 豊富なシステム部品を利用可能	○ 完全独自の作りこみが可能
	改修容易性	× 同上	△ 同上	○ 標準化され、解析・改修容易	△ 煩雑化し、解析・改修困難になる場合がある
コスト	導入期間	○ 短い	× 短縮できるがカスタム範囲による	△ 短縮できる	× 長い
	導入費用	△ パッケージの費用による	△ 抑制できる	△ 抑制できる	× 高い
その他の特徴		他社事例ノウハウが集約されている 品質が安定している	フィット率の高いモジュールのみを適用すると効果的	一定の標準化や品質確保が容易	必要な機能しか持たずムダがない

■ プログラム

2日間 10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

【1日目】 基礎知識編

1 生産管理とは
- 生産管理の機能
- 生産管理の目的
- 生産管理と情報システム

2 生産管理システム構築の考え方
- システム構築における問題点
- 生産管理システム導入成功のキーポイント
- 生産管理システムの機能

3 生産管理システム構築の進め方
- システム導入の進め方
- 生産管理システム導入事例紹介

4 ケーススタディー演習準備
- ケース事例の読み込み

【2日目】 ケーススタディー演習編

1 業務改革構想の立案
- 現状分析
- 問題抽出と対策方向づけ
- 改革テーマの策定
- 実行計画の立案

2 要求分析の実施
- 改善策具体化
- 構想策定

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

JMA 経営革新を推進する 一般社団法人日本能率協会

申込・セミナー詳細は JMA100346 検索